Japanet

ジャパネットグループ

会社案内

Japanet IDENTITY

Japanet
POLICY

Japanet
STYLE

Japanet
CULTURE

わたしたちが実現したいこと
PURPOSE

世の中にもっと便利とワクワクを、
生活が豊かに変化する感動を、
地域に暮らす誇りと楽しい時間をシェアする喜びを、
伝え広げることを通じ、
お客様・お取引先様・従業員、関わるすべての人の毎日を
「今を生きる楽しさ」あふれるものにすること。

Japanet

POLICY

事業方針

見つける・磨く・伝える

ジャパネットは世の中にある本当に良いモノを見つけること、
独自の視点でより良い商品やサービスとしてさらに磨くこと、
そして、本質をしっかりと伝えることを大切にしています。
正しいと信じる形を「見つけ」「磨き」「伝える」ことで
ジャパネットならではの付加価値を創造できる事業に集中します。

Japanet

STYLE

スタイル

厳選集中

本当に良いモノを選び抜き、その良さを磨きあげる

チャネルミックス

さまざまなつながりの場所を通じて、
大切なメッセージを伝え方にこだわって伝える

自前主義

可能な限り自社内で行うことで価値を高め、
すべての品質に責任を持つ

超高速 PDCA

すぐに取り組み、常に見直し、
スピード感をもって改善し続ける

徹底したお客様想像力

どんなときでもお客様を想像し、
期待を超えた感動を届けられるよう
細部にまでこだわる

Japanet

CULTURE

行動指針

アットホームでストイック

ジャパネットの従業員は、

お客様やお互いを家族のように想うあたたかい心と、

理想に向かって、本気で、最後までやり抜く

ストイックさの両方を大切にします。

-action-

1.笑顔で挨拶をします

2.ルールを守ります

3.しっかりと考えて、
自分事として行動します

4.生産性の高いやり方にこだわります

5.良いと思ったらまず動き、
成果が出るまでやり抜きます

-mind-

6.変化を恐れずに挑戦します

7.謙虚に努力します

8.相手の立場を想像し、
気持ちよく想いを伝えます

9.仲間を信頼し、力をあわせて
新たな価値を創造します

10.より良い未来に向かって、
「今」を楽しみます

Message

ご挨拶

ジャパネットの前身である株式会社たかたは1986年、創業者髙田明によって設立されました。

通信販売事業が拡大していく中で、ジャパネットの存在価値は、
良いモノを買いたいけれども、世の中に溢れる商品の中から選択するのは大変だという方に、
「ジャパネットとして商品やサービスにこだわって見つけ出し、その魅力を徹底的に磨きあげ、世の中に伝えていくこと」だと確信しています。
ジャパネットのお客様の多くは、その日に購入する予定ではなかった方も多いのではないかと思います。
だからこそ絶対に後悔させない商品選びと徹底したサポートにこだわるべく
グループ各社の従業員一人ひとりがお客様を想像して「今を生きる楽しさ」を届けられるように努力を重ねています。

2019年には通信販売事業に並ぶ2つ目の柱として、スポーツ・地域創生事業を掲げました。
2017年からスタートした地元長崎のプロサッカークラブ「V・ファーレン長崎」の経営を通して、
地域を盛り上げていきたいという想いが強くなりました。
2020年には、長崎初となるプロバスケットボールクラブ「長崎ヴェルカ」を立ち上げ、2021-22シーズンからBリーグに参入し、
2023年にはB1最短昇格を果たしました。
2024年10月に開業した「長崎スタジアムシティ」は、サッカースタジアムを中心としたアリーナ・オフィス・商業施設・ホテルなどの複合施設で、
長崎出身の会社として地元を活性化したいという想いで進めています。
民間企業として覚悟を持って進めることで、意思決定の精度とスピードを高めつつ、通信販売事業で培った徹底したお客様想像力を注いで、
まずは長崎を、その先には日本全国を元気づけられる存在になりたいと考えています。

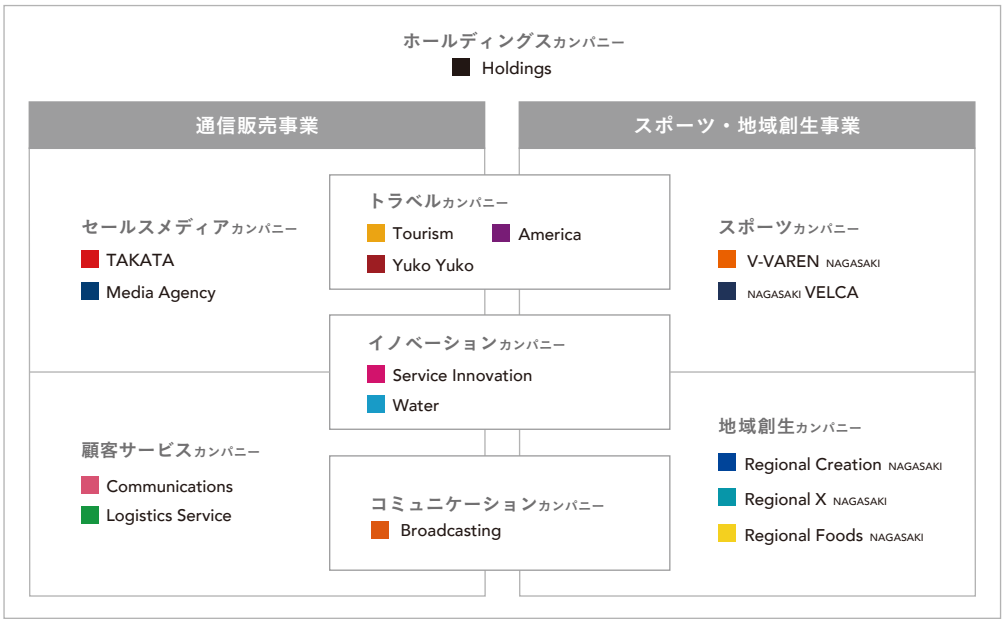
従業員の労働環境についても、「アットホームにストイック」をテーマに、
仕事ではお客様や仲間のために生産性高く、楽しみながら成長でき、
そして仕事以外の時間も充実できるような環境づくりとサポートができる最高の会社を目指しています。

素晴らしいものを生み出すさまざまな取引先や地域の皆様の想いと、
私たち従業員の想いを合わせ、より多くのお客様に「生活が豊かになった」と感じていただき、
「今を生きる楽しさ」を実感いただけるようなサービスを提供できる会社になることが、私たちの使命です。
これまで培ってきた強みを最大限に活かしながら、企業としての総合力を高め、より多くの「今を生きる楽しさ」をお届けできるよう、
従業員一同、精進してまいります。

代表取締役社長 兼 CEO　髙田 旭人

Organization Chart

事業体制図



株式会社 ジャパネットホールディングス

・グループ全体の人事戦略、経理戦略、広報戦略、
情報システム開発を含む経営戦略、
広告企画・映像・グラフィック制作

通信販売事業

株式会社 ジャパネットたかた

・商品のバイイング
・ショッピング媒体(テレビ・ラジオ・紙・ECサイト)の
コンテンツ制作
・商材マーケティング

株式会社 ジャパネットメディアエージェンシー

・メディアバイイング
・メディアマーケティング

株式会社 ジャパネットコミュニケーションズ

・ご購入受付及びご購入前後の問い合わせ受付
・アフターサービスの問い合わせ受付
・問い合わせ内容の分析、商品改善

株式会社 ジャパネットロジスティクスサービス

・商品発送、大型商品の配送・設置サービス
・指定商品のメンテナンス、訪問サービス
・商品の修理、交換、返品業務

トラベルカンパニー

株式会社 ジャパネットツーリズム

・旅行業

ゆこゆこ

・旅行事業：日本国内の宿泊を対象とする手配旅行
・コンタクトセンター事業
・広告販売事業

株式会社 ジャパネットアメリカ

・米国での旅行販売
・長崎スタジアムシティへのスポンサー営業、イベント誘致

イノベーションカンパニー

株式会社 ジャパネットサービスイノベーション

・クレジットカード・キャッシュレス事業 その他決済の企画
・電気小売事業(小売電気事業者登録番号A0673)
・新規サービスの企画

株式会社 ジャパネットウォーター

・ナチュラルミネラルウォーターの製造
・クラフトビールの製造(予定)

コミュニケーションカンパニー

株式会社 ジャパネットブロードキャスティング

・自社BSチャンネルの番組編成、および放送業務
・放送番組の企画立案、番組制作、買付および販売
・放送・収録スタジオの賃貸・保守管理

スポーツ・地域創成事業

株式会社 V・ファーレン長崎

・サッカークラブの運営、競技の興行
・選手のマネジメント、次世代選手と子どもたちの育成

株式会社 長崎ヴェルカ

・バスケットボールクラブの運営、競技の興行
・選手のマネジメント、次世代選手と子どもたちの育成

株式会社 リージョナルクリエーション長崎

・地域創生事業に関わる事業戦略・事業企画
・長崎スタジアムシティの企画・運営

株式会社 リージョナルエックス長崎

・イベント企画・運営

株式会社 リージョナルフーズ長崎

・レストラン事業の企画・運営
・ケータリングサービス

History

沿革

始まりは、一軒のカメラ屋さんでした。

1986 写真の撮影・現像、カメラを中心とした商品の販売などを行う会社としてスタート。

1990 NBC長崎放送で、通販事業の出発点となる初めてのラジオショッピングを実施。
日本全国でラジオショッピングを放送できるようになり、本格的な通信販売会社としての歴史を歩み出す。

1994 佐世保市大塔町に自社ビルを建設。同年、自社制作によるテレビショッピングの放送を開始。

1995 会員様向けの通販カタログと新聞折り込みチラシを発行。全国に向けた紙媒体での通販事業に本格的に参入。

2000 大型総合カタログ「ジャパネット倶楽部」を創刊し、本格的にカタログ通信事業を開始。
自社ECサイトを立ち上げ、オンラインショッピングの事業を開始。

ジャパネットの通信販売は、ラジオ・テレビ・ペーパーメディア・インターネットという4媒体によって、
より多くのお客様に良いモノをお届けできる『チャネルミックス』体制になる。

2001 佐世保・大塔にテレビスタジオ「ジャパネットスタジオ242」を開設。
同年には大規模な物流と受注センターを備えた佐世保・日宇に自社ビルを建設。
自社で商品の仕入れからアフターフォローまですべてを行うことで、より良いサービスを提供できる『自前主義』の体制を整えた。

2010 コールセンター部門を「株式会社ジャパネットコミュニケーションズ」として分離独立。
商品購入前のお問い合わせから、購入後のサポートまでを行う総合コンタクトセンターとしてスタート。

2015 創業者 髙田明が社長退任。髙田旭人が新社長に就任。企業ロゴと企業理念を一新し、新生ジャパネットがスタート。
メディアプランニングの強化とクリエイティブ部門の内製化を目指し、「株式会社ジャパネットメディアクリエーション」をグループ化。
東日本への配送を強化するため、千葉県市川市に物流センターを開設。

2016 自社ECサイトを「Japanet senQua（ジャパネットセンカ）」へ全面リニューアルし、各カテゴリの中から選び抜き、
磨きあげた最高の一品を販売する『厳選集中』の体制を強化。

2017 プロサッカークラブ「V・ファーレン長崎」を株式100％取得を経てグループ会社化し、髙田明が代表取締役社長に就任。

2018 新規サービスの取り扱いを行う「株式会社ジャパネットサービスイノベーション」を設立し、自社製造のナチュラル
ミネラルウォーター「ジャパネットウォーター」の販売事業や、業界初となる日本一周チャータークルーズを6回実施。
ジャパネットホールディングスが主体となり、スタジアムを中心としたまちづくり「長崎スタジアムシティプロジェクト」を始動。

2019 民間主導のまちづくり・地域創生を行うため「株式会社リージョナルクリエーション長崎」を設立。

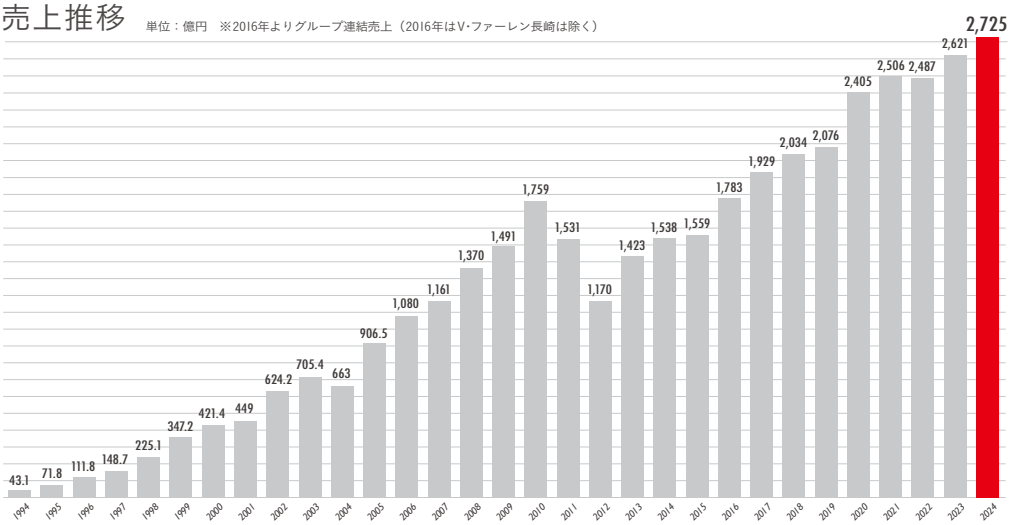
2020 スポーツ・地域創生事業を担う「株式会社リージョナルクリエーション長崎」が稲佐山公園・ロープウェーの指定管理を開始。
長崎初のプロバスケットボールクラブ「長崎ヴェルカ」を立ち上げる。

2022 BS放送局「BSJapanext」開局。
サッカー・バスケットボール・チアダンススクールの拠点として「VスポーツベースNAGASAKI」をオープン。

2023 米国での旅行販売や長崎スタジアムシティへのスポンサー営業・イベント誘致の事業を担う「Japanet America Inc.」を設立。

2024 日本初の映画専門有料チャンネルを運営する「株式会社スター・チャンネル」をグループ会社化。
宿泊予約事業を担う「株式会社ゆこゆこ」をグループ会社化。
長崎スタジアムシティ　グランドオープン。

2025 BS放送局「BSJapanext」を「BS10」にリニューアルし、衛星放送史上初となる無料・有料放送のハイブリッド運営を開始。

売上推移

単位：億円　※2016年よりグループ連結売上（2016年はV・ファーレン長崎は除く）